

Health

ADVICE

渡邊外来師長の

調子はいかが？

町立病院 ☎42局1231番

町立病院スタッフ
からの健康
アドバイスです



乳がん検診を受けてみようと思いますが、どのような検査をするのでしょうか？（42歳・女性）

【乳がんについて】

当病院では、がんの早期発見・早期治療に向けた取り組みとして、乳がん検診を積極的に取り組んでいます。

検診で広く行われている検査が、皆さんご存知のとおり、マンモグラフィ検査です。最も良い検査とされ欠かすことのできない検査ですが、マンモグラフィ検査だけではあ

りません。最近では、乳腺超音波（エコー）検査も乳がん発見に有用な検査の一つとされています。この両方の検査を一緒に行うことで、より多くの乳がんを早期に発見することが可能となります。しかし検診ではまだまだ普及していません。当院ではいち早く、マンモ

グラフィ検査だけでなく、乳腺超音波検査も取り入れた検診を行っています。今回は、検診を受けられるまでの手順、当日の流れとマンモグラフィ検査と乳腺超音波検査の方法について簡単にご説明いたします。

【検査の流れ】

事前に電話予約を入れ、当日は医事課検診窓口で受付を行います。まず看護師による問診を行い、マンモグラフィ検査、乳腺超音波検査の順に行います。検査はすべて女性技師が行います。結果説明は、後日外科医師より行われます。

【マンモグラフィ検査】

マンモグラフィとは乳房のX線（レントゲン写真）です。乳房は非常にやわらかい組織

（乳腺や脂肪）でできているため、専用のX線装置でしか撮影



することができません。検査は、乳房を撮影台の上に載せ、上からプラスチックの板で挟んで撮影します。この時、乳房をできるだけ薄く引き伸ばすため、乳房を強く圧迫します。薄く均一に引き延ばすことにより、乳腺の中に隠れた乳がんや乳がんの初期症状となる小さな石灰化を見つけることができます。また、X線の量も減らすことができます。ただ乳腺が張っている時期は痛みを伴う場合があります。撮影は、左右別々に違う方向から2回ずつ、全部で4回撮影します。検査時間は20分程度です。



【乳腺超音波検査】
上半身の服を脱ぎ、ベッドの上に仰向けに休んでもらい、両手を頭側に挙げた状態で行います。次に、超音波を出す器具（プローブ）にゼリー状の液体を塗り、その器具で乳房全体をくまなく滑らせて得られる画像をテレビモニターに写し、小さなしこりの有無を調べます。検査時間は約20分程度です。
この機会に是非、検診を受けられてはいかがでしょう。



検診で広く行われている検査が、マンモグラフィ検査です。その他にも乳腺超音波（エコー）検査があり、乳がん発見に有用な検査の一つとされています。

【アドバイザー】

渡邊 瞳（わたなべひとみ）・平成7年4月より鞍手町立病院勤務。平成22年4月より外来師長。

6月17日（日）に休日乳がん検診を行います。
受付期間は、6月11日（月）～6月15日（金）午前9時～午後5時です。



今月新しく入りました。

●一般の本

／降霊会の夜（作＝浅田次郎）／星に願いを、月に祈りを（作＝中村 航）／ヒート（作＝堂場瞬一）／大江戸釣客伝（作＝夢枕 獏）／三匹のおっさんふたたび（作＝有川 浩）

●子どもの本

／山猫たんけん隊（作＝松岡達英）／でんぐりがえし（作＝ビーゲンセン）／うさくんのおもちゃでんしゃ（作＝さかいさちえ）／もうどう犬リーとわんぱく犬サン（作＝郡司ななえ）／どうぶつびょういんおおいそがし（作＝シャロン・レンタ）／ねえ、おはなしきかせて（作＝原 京子）

中でもこの本が **オススメ** です。

かすていら

作＝さだ まさし



昭和 30 年代、長崎。カステラの香りに包まれた記憶の中には、明るくて、ちょっと迷惑で、それでも皆から愛された破天荒な父と、振り回された家族の姿があった。数々の名作を綴り涙あふれる独壇場世界を紡いできた著者の、真骨頂とも言える、初の自伝的小説。父に捧ぐ「もうひとつの精霊流し」。

いっしょにあそぼ あかあかろくろ

作＝かしわらあきお



赤いまる、赤いりんご、黒いながぐつ、白いねこ。0歳の赤ちゃんがよく見える「黒・白」のコントラストの濃淡を生かした絵本。穴あきしかけに、赤ちゃんがくぎづけ。赤ちゃんの大好きな「顔」も楽しめ、夢中になって遊べます。



傍聞き

作＝長岡弘樹

4 編の短編からなるミステリーです。読み進むうちに、一見不可解なタイトルがそれぞれの作品の伏線になっていることに気づかされます。特に表題になっている「傍聞き」では、女性刑事である母親と娘との日常の葛藤が思わぬ展開を

迎えます。娘の不可解な行動に隠されていた意図とは……。また一つ素敵な日本語に出会えたと感じられる作品です。読後に、人間の持つ悲しさと暖かさが心に染みわたる一冊です。



どうぞのいす

作＝香山美子

仕 事の時に座る椅子、勉強机の椅子、椅子にもいろいろありますが：ウサギさんの作った椅子は「どうぞのいす」。野原の木の下に置かれた小さな椅子。その椅子を最初に見つけたのはロバさんでした。ちよつと一休みとお昼寝をしたロバさんに起こった

出来事とは……。優しい文章とほのぼのとしたイラスト。「どうぞ」っていいなあ……。ほわっと暖かい気持ちになれる絵本です。

春の桜、夏の海、秋の紅葉、冬の雪……。美しい四季が体感できるのは日本人の特権。そんな私たちだからこそ、読みたくなる「旬」の本があります。シリーズ「旬の本だな」。6月は「素敵な言葉」をテーマに2冊の本をご紹介します。紹介者は石松一葉さん（鞍手町文庫連絡会）です。

